平成２６年度　代ゼミ夏季特別講座　実施案内

平成26年６月　16日
本庄東高等学校
進　路　指　導　部

「夏を制するものは受験を制す」よく聞く言葉です。3年生は暑い夏を上手に乗り切って2学期以降の弾みをつけたいものです。また2年生は受験レベルを体感することにより意識を高めて、受験生としての心構えを確立していきたい大切な夏休みとなります。各自それぞれ夏休みの計画をたてるとは思いますが、学校では8/4（月）～8/8(金)の日程で昨年度に引き続き、代ゼミの現役講師を招いて特別講座を開設することになりました。代ゼミで実際行われている夏期講習と同一の内容を同一のテキストを用いて下記の通り実施します。講座内容やレベルをよく考えて、申し込みをしてください。この講座が諸君の飛躍のきっかけとなることを期待します。

記

1、 日程:　　8月4日（月）～8日（金）の5日間

2、 使用教室:　　視聴覚教室･大講義室･小教室･小教室

①　時間割

	視聴覚教室	大講義室	小教室	小教室
9:00 ～ 10:30	センター数学 ⅠA･ⅡB	高2基礎英語	ハイレベル数学 ⅠA･ⅡB	高2スタンダード英語
10:50 ～ 12:20	センター英語（読解）	高2基礎数学	ハイレベル英文読解	高2スタンダード数学
13:00 ～ 14:30	英文法･語法	GMARCH英語	ハイレベル数学 Ⅲ	数学Ⅲ

②　内容（代ゼミ夏期講習パンフレットより抜粋）

＜数学＞

講座名	内容
ハイレベル数学Ⅲ	極限･微分･複素数平面における頻出問題を通して、常識･定石解法と応用法の完成を目指す。解けなくてはならない問題を確実に。
センター数学ⅠA･ⅡB	新課程センター試験で高得点を取るための重要手法を整理する。
ハイレベル数学ⅠA･ⅡB	「関数･数列･確率･微分積分･ベクトル」を扱う。難関大学のやや難度の高い入試問題を素材に講義する。
数学Ⅲ	数学Ⅲの微分法および複素数平面を扱う。基本をベースにして、この分野の標準的な入試問題を解く力を養成する。
高2スタンダード数学	図形と式･三角関数を扱う。地方国立･GMARCH レベル。
高2基礎数学	図形と方程式、三角関数を扱う。センター試験レベル。

＜英語＞

講座名	内容
GMARCH英語	過去問を使い、読解では単語をつなげるだけの読み方をやめ、構造に基づいて読む力を磨く。文法では、各出題形式の解法を解説。
センター英語（読解）	設問パターンについてどう対処すべきかを講義する。
英文法･語法	文法･語法を得点源にするための基礎を、重要単元である動詞･準動詞･関係詞･接続詞を中心に指導する。
ハイレベル英文読解	難関大入試で求められる「細部の正確な解釈」と「趣旨の素早い把握」両面のレベルアップを図る。
高2スタンダード英語	文型と動詞･不定詞と動名詞･分詞･関係詞･仮定法を扱う。地方国立･GMARCH レベル。
高2基礎英語	品詞と文型･時制･態･助動詞を扱う。センター試験レベル。

4、費用:　　1講座1，500円（テキスト代）（2学期の副教材費とともに振り込みとなります）

5、申し込み方法:　別紙の申込書に必要事項をもれなく記入し、6月19日、20日の12時55分から13時10分、以下の場所で受付をします。（時間と場所に注意してください）使用教室の大きさに限りがありますので先着順で第1希望の受講講座は決定します。

★　受付時間･場所　　6月19日（木）、6月20日（金）　・　第1体育館入口前

6、注意事項

・「ハイレベル」は旧帝大･早慶レベル。

「スタンダード」は地方国立･GMARCHレベル。

「基礎」はセンター試験レベル。

・　複数の講座の受講を希望する場合には申込書の希望欄に数字で優先順位を記入すること。

・　第1希望に漏れた場合には第2希望、第3希望を優先的に受講できるように配慮します。

・　7月初旬に、決定した受講講座を各クラスで発表します。

・　使用教室での飲食は厳禁とします。昼食は生徒控え教室（後日発表）で行うこと。

・　いったん申し込んだ講座に関して変更は出来ません。確定した講座のテキスト代金は必ず振り込んでください。

以上

平成２６年度　代ゼミ夏季特別講座　申込書

年　　組　　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受講希望講座（希望講座名の下の欄に〇印をつけてください）
※ 担当講師については後日発表します。

	視聴覚教室	大講義室	小教室	小教室
9:00 ～ 10:30	センター数学 Ⅰ･A･Ⅱ･B	高2基礎英語	ハイレベル数学 ⅠA･ⅡB	高2スタンダード英語
10:50 ～ 12:20	センター英語（読解）	高2基礎数学	ハイレベル英文読解	高2スタンダード数学
13:00 ～ 14:30	英文法･語法	GMARCH英語	ハイレベル数学 Ⅲ	数学Ⅲ

〇印をつけた希望講座以外に、同一時間で第２希望の講座がある場合には②を、第３希望の講座には③を、第４希望の講座には④を上記の記入欄に記入してください。第１希望の講座に漏れた場合、第２希望→第３希望→第４希望のようにして同一時間内で受講できるよう配慮します。